

軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。（適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。）





道徳教育を軸とした取組・活動

<div>義務教育卒業時につきたい力</div> <div>お互いを認め合い，思いやり，優しさにあふれる態度</div> <div>【小学校：親切，思いやり 相互理解，寛容】【中学校：思いやり，感謝 相互理解，寛容】</div> <div>主体的に活動する態度</div> <div>【小学校：希望と勇気，努力と強い意志】【中学校：希望と勇気，克己と強い意志】</div> <div>地域を大切にする態度</div> <div>【小学校：伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】【中学校：伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】</div>								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
友だちを大切に し，進んでなか よく遊ぶ子	進んで考え，友 だちを大切にす る子	自ら考え行動 し，友達と協力 して頑張れる子	自ら考え，友達 と協力し合い， 互いに高め合え る子	主体的に行動 し，互いに高め 合いながら，最 後までやりきる ことのできる子	最高学年として 自覚と責任をも って，主体的に 行動し，互いに つながり高め合 える子	挨拶ができ，ル ールを守り，主 体的に学習でき る思いやりのあ る生徒	ルールを守り， 授業をクラスで つくりあげ，お 互いを認め合う 生徒	主体的に自分の 進路を切り拓 き，様々な立場 で大原野地域を 担う生徒
小 1 （１年）	小 2 （２年）	小 3 （３年）	小 4 （４年）	小 5 （５年）	小 6 （６年）	中 1 （７年）	中 2 （８年）	中 3 （９年）
<div>取組・活動</div> <div><大原野小学校の取組></div> <div>■道徳の時間</div> <div>○模擬授業，事前授業で指導過程・発問を練る</div> <div>○挿絵や写真，動画等の効果的な活用</div> <div>○役割演技や心のバロメーター・心レベルなど，価値について話し合うための手立ての工夫</div> <div>○自分の考えをまとめ，深めるとともに，ふりかえりや自己評価ができるワークシートの工夫</div> <div>○自作教材の開発</div> <div>■他の教育活動と道徳教育との関連</div> <div>○別葉を作成し，他教科や行事との関連を整理する</div> <div>○友だちの良いところを見つけ，星型カードに書いて掲示する「きらきら見つけ」を全校で実施</div> <div>○全学級の「きらきら見つけ」を全校児童や保護者のよく通る場所に掲示する「きらきらロード」</div> <div>○人権教育と関連して，３校合同の「人権標語」に取り組み，人権を大切にしようとする態度を育てる</div>						<div><大原野中学校の取組></div> <div>■道徳の時間</div> <div>○グループ活動の課題設定（中心発問）の工夫</div> <div>○思考力・判断力・表現力をふまえた言語活動の場面設定</div> <div>○生徒の学習を深めるための効果的なグループ活動</div> <div>○自己評価や授業アンケート</div> <div>■他の教育活動と道徳教育との関連</div> <div>○道徳教育全体計画，年間指導計画及び別葉の作成</div> <div>○三校合同人権標語</div>		
<div><上里小学校の取組></div> <div>■道徳の時間</div> <div>○道徳公開授業（若手研修），事後研修</div> <div>○挿絵，写真，動画等の効果的な活用</div> <div>○学びを深める板書の工夫</div> <div>○役割演技，児童ネームプレートの有効的な活用</div> <div>○「意見をつなげる」ことを意識した授業展開</div> <div>○自己評価，ふりかえり（ワークシート）</div> <div>■他の教育活動と道徳教育との関連</div> <div>○別葉の作成，行事等と関連した道徳の授業</div> <div>○三校合同人権標語</div> <div>○全校人権集会に関する取組</div>								
基本的生活習慣，社会生活上のきまりを身につけ，正しく行動しようとする態度を育てる。		約束や社会のきまりを守り，みんな で協力し合う態度を育てる。		法やきまりを守り，相手の立場を理 解し支え合う態度を育てる。		基本的な生活習慣を身につけ，集団の一員としての役割と責任を自覚し，自身で考え・行動することのできる生徒の育成を目指す。 他者を思いやることができ，尊重・理解しようとする生徒の育成を目指す。		

児童会・生徒会活動を軸とした取組・活動

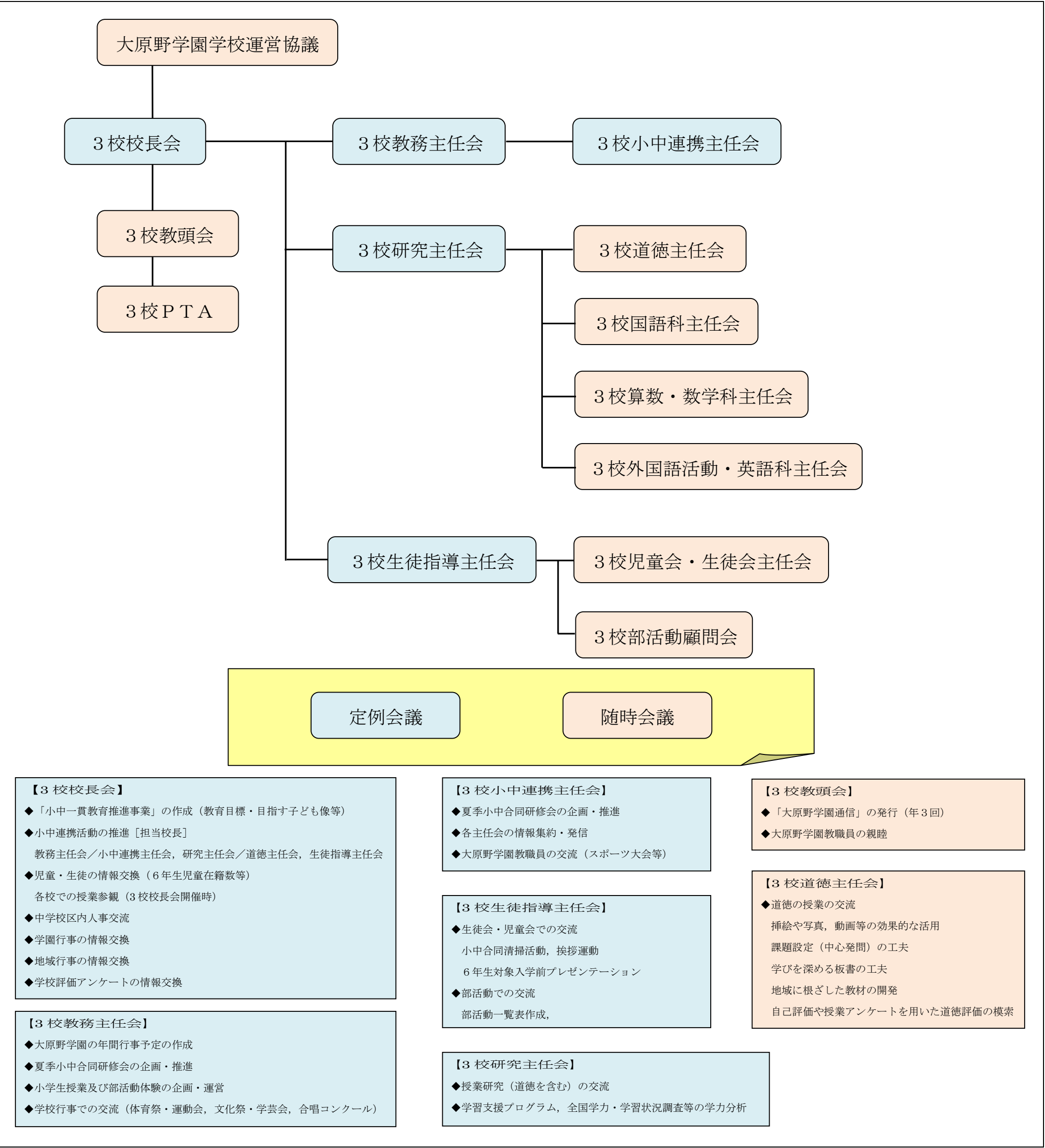
<p>義務教育卒業時につけたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校集団の一員としての自覚を高め、自主的・社会的な生活態度を身につけ、共に力を合わせて活動する。 ・縦割りによる集団活動を通して、協力し、互いに認め合う。 ・地域貢献活動に積極的に取り組み、地域で活躍する。 								
<p>学年または学年区分ごとにめざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活において友だちと仲良くし、助け合うことができる子 ・異学年交流・縦割りの活動に慣れ、楽しむ子 				<ul style="list-style-type: none"> ・自発的・自治的に学校生活に関する諸問題を話し合い、その解決を図る子 ・児童主体で異学年交流・縦割りの活動内容が計画できる子 		<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会との連携、協力をはかり、生徒会活動を活発にする生徒 ・ボランティア活動を推進する生徒 		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
<p>取組・活動 ＜大原野小学校の取組＞</p> <p>○1年生を迎える会 ○運動会〔スローガン決定・始め終わりのあいさつ・司会〕</p> <p>○6年生を送る会 ○児童会の目標決め ○児童朝会〔委員会で1回ずつ担当〕</p> <p>○たて割り活動〔つながりタイム：月1回第3木曜日〕〔異学年交流：1－6，2－4，3－5〕</p> <p>○募金〔アルミ缶集め〕 ○あいさつ運動</p>						<p>＜大原野中学校の取組＞</p> <p>○新入生を迎える会（4月）</p> <p>○生徒総会（6月）</p> <p>○地域清掃活動（6月）</p> <p>○リーダー研修会（8月）</p> <p>○プルタブ・エコキャップ報告（9月）</p> <p>○生徒会選挙（11月）</p> <p>○3年生を送る会（3月）</p> <p>○生活確立運動</p> <p>○挨拶運動</p> <p>○リサイクル活動</p>		
<p>＜上里小学校の取組＞</p> <p>○1年生を迎える会（1H） ○運動会〔スローガン決定・始め終わりのあいさつ・司会〕</p> <p>○6年生を送る会 ○児童朝会（毎月1回），○たてわり交流会 ○全校オリエンテーリング</p> <p>○ハローウィーク（あいさつ運動）</p>								
<p>＜中学校ブロックとしての取組＞</p> <p>○大原野中学生徒会と各小学校児童と校区の地域清掃</p> <p>○大原野中学生徒会が各小学校へ出向き，6年生を対象に学校紹介</p>								

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方	「相手に伝わるように工夫しよう」という気持ちを大事にする ＜話す内容の順序＞ ①いつ ②どこで ③だれが ④何を ⑤どうした ⑥どうだった ・声の大きさと速さに気をつけて話す ・聞き手を見て話す						「生徒同士による協働的な学び（グループ学習）」を導入する。 【言語活動力向上実践計画】 ◆辞書の積極的活用，文章や言葉で表現する機会の設定し，自分で使いこなせる語彙を増やし，表現力を養う。 ◆教科書の内容に即して，語句の意味を理解する力，文章の内容を読みとる力をつける。 ◆グループ学習やスピーチ，作文などを通して言語活動の充実を図る。 ◆作文や習字など，各種コンクールに積極的に参加する。		
聞き方	「相手のことをたくさん知りたい」という気持ちを大事にする ・話している人の方を見て聞く ・自分の考えと同じところ・ちがうところを考えながら聞く ・話の中心に気をつけて聞く						◆大事なことをメモしながら聞く ・質問をしたり感想（さん成・反対）を言ったりしながら聞く		
発表のルール		<u>最初の発表</u> わたしは，～だと思います。 そのりゆうは，・・・だからです。					【グループ学習の意義・必要性】 ◇課題解決達成のための方法（手順・手法）等の情報を交換しながら共有できる（情報交換の場合） ◇課題解決に向かってグループ内相互に啓発・奨励しながら学習できる（啓発・奨励の場合） ◇グループ内での相互作用によって学習の継続が促進される（継続促進の場合） ◇学習の成果を相互に承認することができる（相互承認の場合） ◇学習の仲間意識が生まれ，居場所が確保され，所属の欲求が満たされる（所属の場合） ◇学習の成果を仲間とともに自己表現できる（自己実現の場合）		
		<u>同じ意見の発表</u> わたしは，〇〇さんと同じで， ～だと思います。							
		<u>追加・補足の意見の発表</u> わたしは，〇〇さんにつけたして， ～だと思います。 そのりゆうは，・・・だからです。							
		<u>異なる意見の発表</u> わたしは，〇〇さんとはちがって， ～だと思います。 そのりゆうは，・・・だからです。							

小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等，小中一貫教育を推進する体制を記載してください。



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

- 年度当初に，大原野学園の年間行事予定表を作成・配布する。
- 年3回，「学園だより」を保護者・地域に発行し，大原野学園の活動・取組を発信する。
- △「学校評価アンケート」における統一項目を検討・実施し，その結果を分析する。
- △各校の学校運営協議会を3校で統一し，大原野学園の学校運営協議会として発足させる。

※ ○→H28年度より実施 △→H29年度以降に計画